

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市税の徴収等に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	2	1	
政策	41計画の実現のために	担当課室	収税課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	石井 邦男			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	滞納処分の手続きにかかる習熟度を高め、効率的な運用を図るために差押えるべき財産を選定する。	③令和元年度に取り組む改革・改善内容	滞納処分の手続きにかかる習熟度を高め、効果的かつ、新たな差押方法等を選定する。
②①に基づく取り組み結果	搜索、動産公売、税務署へ滞納処分等の質疑を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市税	意図(対象をどうするのか)	市税の確保と徴収率の向上
②事務事業の概要	市税の徴収に必要な滞納整理(滞納処分、督促、催告、納付相談)を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	納税者のライフスタイルの多様化に伴い、納税環境の整備強化、新たな差押方法等を検討する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	搜索、動産公売を実施した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i	収納額	13,376	13,611	13,754	百万	決算
	ii	徴収率	94.10	95.00	95.90	%	決算
	iii						
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	6,914	8,869	金額(千円)	内容	13,308		
国支出金(千円)			7,831	非常勤職員賃金			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	6,914	8,869			13,308		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	第三債務者に対し、支払督促、取立訴訟の実施。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	効果的な財源確保をすべく、差押えるべく財産を選定する力をつける。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	平成30年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H29からの繰越
		H29⇒30繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	令和元年度への繰越額(単位:千円)				